

もっと身近に

男女共同参画

④協働まちづくり課

コミュニケーション推進室

TEL44-3107

日本は…なんと120位！ もっと女性が活躍できる社会に

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」は、世界各国における男女間の格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」を発表しています。

令和3年3月31日に発表された日本の順位は、調査対象156の国と地域の中で120位で、主要7か国では最下位という結果になりました。

ジェンダー・ギャップ指数の順位

国名	総合順位	ギャップ指数
アイスランド	1	0.892
フィンランド	2	0.861
ノルウェー	3	0.849
ニュージーランド	4	0.840
スウェーデン	5	0.823
ドイツ	11	0.796
米国	30	0.763
韓国	102	0.687
日本	120	0.656

※指数は、0が完全不平等、1が完全平等

どうして低い 日本の順位？

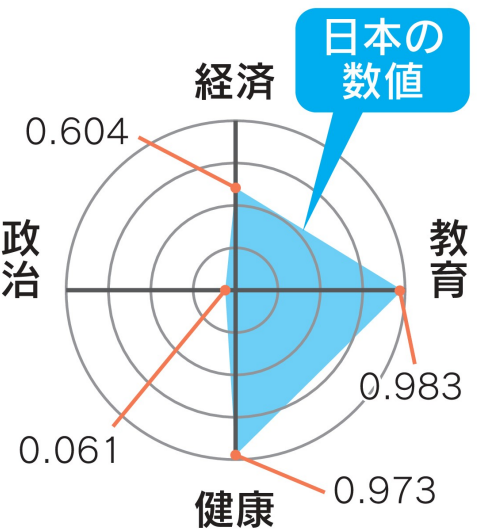
日本の順位は、どうしてこんなに低いのでしょうか？

その理由は、GGIの出し方にあります。この指数は、「政治」「経済」「教育」「健康」の4つの分野における男女格差を総合して算出されています。日本は、「政治」と「経済」の分野で指導的な

立場にいる女性(議員や閣僚、管理職)が少ないため、順位が低くなっているのです。

確かに、ニュース映像などで目にする海外の政治家や企業のトップには、日本と比べて女性が多くいるように感じるのではないのでしょうか。

日本の分野別の状況



※指数は、0が完全不平等、1が完全平等

あらゆる分野で女性の参画を進めるために

市では、政策・方針決定過程への女性の参画を進めるため、市の審議会等の女性委員の割合の引き上げに取り組んでいます。女性の視点や発想を取り入れ、多様性に富んだまちづくりに向けて、女性委員の割合40%を目標に掲げ、女性の意見をさらに市政に反映するよう努めています。